



宮崎会長テーマ

『楽しくやろう・ロータリー』(Let's have fun-Rotary)

2024-2025 RI 会長:ステファニー・アーチック 2570 地区ガバナー五十幡和彦 会長:宮崎正文 幹事:田中快枝

10号 3352回例会 2024年 9月 12(木)

<ビジター・ゲスト>

 駿河台大学常務理事 時本 識資 様
 経営企画課 堀江 美代子 様

❀ 会長の時間 ❀

宮崎正文会長

先週7日土曜日は、二十四節季の「白露(はくろ)」という日でありました。白露とは、気温がぐっと下がって空気中の水蒸気が冷やされ、草花や木に朝露が宿り始めるころだそうです。白露は、秋の季語にもなっています。暑さが次第におさまって、徐々に冬へ向かうその間の少しずつ変わっていく様子を表すものだからでしょうか。秋の物寂しさや、儂さが古くから歌によく読まれているそうです。又、この時期の気象は不安定で、秋の長雨が始まるころだとも言われております。皆さん、体調を崩しやすい時期ですので、気を付けて頂きたいです。



でも、この暑いのは異常です。こんな日にゴルフなんかやるもんじゃないなと思ってましたが、今週火曜日にゴルフ行ってしまいました。10日に、地区のチャリティゴルフコンペがあり、忽滑谷会員・晝間会員・間野会員と一緒に参加してきました。スコアはそれなりでした(いつも通り)。発表は11/24の地区大会ですが、いい賞に入れば良いと思います。熊谷でしたので、凄く暑くて倒れるかと思ったのですが、何とか無事に回ってこれました。そんな中、五十幡ガバナーが、ポリオの赤いTシャツを着て、朝は各組との写真撮影、昼は食堂でのアイスや氷の配布、帰りは受付前でのお見送りと暑い中、1日中忙しく振舞っていました。大変だなと思った次第です。

今日は、「ニコニコ」について話そうと思います。いつもSAAがニコニコの発表をしますと言っていますが、なぜニコニコと言うかわからなかったです。疑問に思い少し調べてみたら、世界

的な慣例ではないみたいです。ニコニコは日本にはありますが、世界中どこの国にもあるというものでは無いみたいです。日本でニコニコ(箱)の慣例ができたのは、昭和10年のことだそうです。

関東大震災の被災した孤児たちを東京ロータリーホームという孤児院で世話をしていたそうですが、東京ロータリークラブの人たちが、昭和10年にオープンした多摩川園(今は閉園)という遊園地に孤児たちを連れて行ってやろうという事になりました。ところがその費用はどうしようかという事になりました。クラブの会員たちは、個人ではお金持ちではありますが、クラブ自体にはお金はありません。そこである会員が、一計を案じ、あり合わせのボール箱を持って、「あなたの誕生日ですよ」とか「お嬢さんが結婚したでしょう」とか色々なことを、軽妙洒脱(けいみょうしゃだつ)に面白く話しながら、例会場を回ったそうです。そしたら、会員たちが財布のひもを解いたと言います。当時、大学出の初任給が60円位の時代に、何と600円のお金が集まったといえますから、さすがは東京RCですね。これで孤児たちを多摩川園に連れて行く事ができたそうです。

それから、何かある毎にその箱を例会で持って回って皆がニコニコしてお金を出してくれるからというので、ニコニコの起こりだそうです。いずれにしても、戦前のロータリアンたちは、お金を集めるにしても、色々とユーモラスにやったのでありますが、今日のロータリーには、このユーモアがやや乏しいと思われるそうです。

ニコニコには、寄付金の原則が支配しています。「お金を出したい人が、出したいときに、出したい金額だけ出す」そして「出した人必ずしも尊からず、出さざる人必ずしも卑しからず」これが寄付金の原則だそうです。したがって、強制的要素の一切なく、何か嬉しいことがあった時に、それを記念して、ニコニコ笑って、な

にがしかの浄財を入れるものであって、罰金的要素の無いものを言うそうです。したがって、これは一つの信託財産であって、クラブが何かの社会奉仕活動をするためのために、この善き因縁のお金でその仕事をしてくださいよ、という形で、予めクラブ理事会に預けておくお金でありますから、クラブの通常会計が赤字になったからと言って、このお金をクラブの赤字補填に使うことは出来ないということです。

赤字になった場合は、クラブの会費を値上げするか、予算を切り詰めるしかありません。それは当然ですが。なぜなら、社会奉仕のためのニコニコを、クラブの赤字補填に使えば、ロータリアンが社会奉仕財源をピンハネしたことになるからです。要するに、お金を出した人の気持ちを尊重してクラブ理事会が、これを預かる、すなわち基本的には預かり金であって、クラブの財源ではないという事です。皆さん、これからもニコニコ、よろしく願いいたします。

※【第 2570 地区 2024-25 年度
地区大会記念チャリティゴルフ大会】
日時：9月10日／場所：熊谷ゴルフクラブ



●委員長報告

【プログラム委員会】 細田浩司委員長

本日は時本先生宜しく願いいたします。来週の例会はむさし証券忍田社長に卓話をお願いしています。株のお話ですので楽しみにしてください。



【ロータリー財団委員会】 忽滑谷明委員長

先週の土曜日 9月7日ですがロータリー財団地区のセミナーがございまして、趣旨はですね、要は寄付をお願いしたいということです。入間は目標金額をオーバーしてありますが、お願いすることはないと思います。



私が今日報告したいのは、セミナーの司会を白幡会員が立派に勤めていました。それと、11月3日のスリーデマーチの参加がまだ6人です。ぜひ皆さんで参加したいと思いますので、今日回覧が待っていますので申し込みをできる方は宜しく願いいたします。

<出席報告> 駒形一人委員長

会員数	出席数	出席率	前回修正率
38名	20名	50.0%	-----

事前欠席連絡 7名

<ニコニコBOX> 細淵克則SAA

🌸宮崎正文君, 晝間和弘君, 田中快枝君, 細淵克則君
細田浩司君, 駒形一人君
駿河台大学常務理事、時本博士ようこそ入間RCへ卓話宜しく願い致します。

🌸荒井正武君
皆様こんにちは!!

🌸一柳達朗君
この後、工場見学がある為早退します。

🌸津藤淳也君
先日の大雨で実家山形の畑に土砂が入り、田んぼの整備、稲刈り等で欠席します。

本日¥9,000 累計¥216,000

■回覧、配布物

- ① ガバナー月信前年度増刊号 Vol. 13
- ② ガバナー月信 9月号
- ③ 識字率向上月間リソースのご案内
- ④ 他クラブ週報
- ⑤ プログラム 9, 10, 11月
- ⑥ ポリオ根絶と第 2570 地区ポリオデーのご案内
- ⑦ 箱根親睦旅行のご案内と出欠表
- ⑧ 合同例会のご案内と出欠表
- ⑨ 10/17 ゴルフコンペのご案内と出欠表
- ⑩ 10/26. 27 万燈まつり出欠表
- ⑪ 週報 9号

時本識資様 細田浩司会員より紹介

プログラム委員会として今年度初めての講師卓話をお願いしました。皆さんや私が本当に聞きたい話をこれから1年間全力で探し、卓話によって入間RCの活性化を図って参ります。先ず今日は時本先生に大学の経営側から大学がどのように考えてるのか、わからないところもあります。是非、今日はいろんなお話を思う存分お話してください。よろしく願い致します。

■■■講師卓話■■■

駿河台大学常務理事 博士 時本識資様

地域の課題✕駿河台大学～例えば入間市の場合～



本日、私が皆さんにお伝えできれば良いなと思うのは、一つ私のことを知っていただきたい。もう一つは駿河台大学というものがどういうふうなものであり、何を考えようとしているのかということについて、知っていただけ

ばありがたいです。

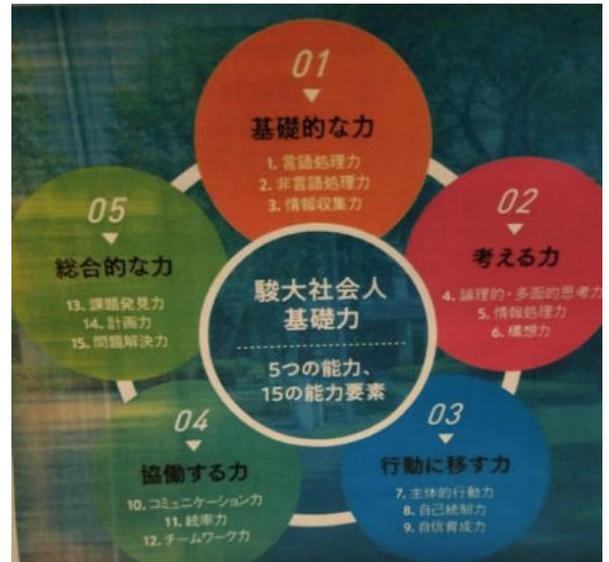
教員を辞めて4月から現在まで数ヶ月、理事ということで、女性の若い理事長の横におります。この組み合わせが中々いい感じなんで、職員にとっても色んな事が言いやすい、考えてもいいんだなっていう空気が出てきている中で今、在籍しております。

私は勉強が本当に楽しく、体育の勉強を真面目にやりたいと思い大学院ではスポーツとは何だと考え一生懸命勉強。大学の教員になるんですが、文科省に行けと言われコテコテの行政の中に入り大変でした。行政ではスポーツを統括してピラミッド構造の一番上でスポーツをやっている中で、こういうスポーツがあるべきだ、こういうスポーツを考えるべきだと、それが現在の日本のスポーツの原型になっています。

スポーツの自立に繋がって生きていく自立に繋がっていくのが、スポーツの本質だろうと感じた時に、スポーツの勉強では足りないと思い、政治を勉強しないとスポーツなんて役に立たない事になるんじゃないかと考え、政治を勉強して大学の教員として何故か、駿河台大学にお世話になっています。この駿河台でスポーツの学部を作りましょうということで、スポーツ科ができ5年です。かなり苦戦をしましたが国の認可を取って、今1学年200名の定員でスポーツ科学部というのでできています。大学には法学部、経済経営学部、メディア情報学部、心理学部の5学部があります。

「社会人基礎力」社会を意識し、社会に目を向ける教育を展開しています。

基礎的な力、考える力、行動に移すしたら、協働する総合的な、こういう五つの力は全ての学生に身に付けさせようというベースの上に、それぞれの専門的な知識を身につける組み立てになっています。



うちの大学の学生の就職の率は99%といいますが、理事としての希望はもっと地元に残っていても良いのではないのかという思いがあります。

大学にはメディアセンターとか色々ありますが、スポーツの測定関係では日本に幾つしか無い低酸素いわゆる高地トレーニングを人工的に作って圧を下げて、いわゆる赤血球を増やし全体の圧を変え運動させて負荷をかけるというやり方の機材があります。学生以外にも稼働させ地域に貢献できるかを今、考えています。飯能の教育委員会があそこにこんなのあるんで、中学生の上の方のレベルの生徒を測定させて遣ればと思っています。

大学は学生の教育資金と同時に大学が地域に立脚して存在しているっていうことの意味って何だろうか考えた時に、この大学っていうのは私立大学ですから民間で儲けなきゃならないけども儲け方も、やはり学校法人として非営利な存在なわけです。ですから公共性があるので税金がいっぱい入ってる。その時に我々は公益法人として、地域に対して何をやるんだ、何を還元するかっていうことが求められた時に、我々は地域としてどこを捉えるのか。今この埼玉

西部地区について、いかに貢献できるかを模索しているところです。

入間市の人口の推移ですが 2011 年に 151,004 人まで達した後は減少傾向に移行。年少人口や生産年齢人口は減少傾向である一方で、老年人口は一貫して増加傾向。2050 年には、老年人口が 44% を占める。どこも同じ日本の人口そのものが、この形になっています。日本の人口減が一番深刻な理由は、諸外国に比べて緩やかに下がっていきければ良いのですが急に下がってきてしまっている点で、持ち時間が非常に不足し、今後取り組む課題が多くあります。

大学は何ができるのかと考えた時に外国人労働者等を大学にいる留学生やスタッフが、日本語教育とか文化教育とかを行うセクションを使えるような形を地域が組み立て直す必要があるだろうと、今考え出しています。今は大学に来てくださいというやり方の殿様商売ですが、人がいるところに出向いて行って何かをする、提供するってような考え方になっていければと思っています。働いた人を態々大学まで引っ張ってくるっていうのは、かなりの動機がなければ、頑張りがなければ継続性が出てこないわけです。大学が変わることによって、意味が出てくるかと思ったりしています。現に入間市のお祭りとかに、うちの学生が関わらせていただいています。逆にそこで学生が地域の構成員ってどういう事っていうところまで理解が及ぶことが出来るまでもう一歩、何とか深めたいなと思ってるんです。学生が頑張り出したら面白いなというふうな期待もあります。外国人や企業地域自治体、色々なキーワードがあります。これをどう組み合わせるのかっていった時に大学の中には、いろんな領域の人間がいて、例えば私のように政策をやっていると自治体と非常に近いところ、ある地域と深いところに関わっている者がいたり、グローバルの関係の教員だったら外国人の文化を理解できる、その様な人材がいて、いろんなところに関わる人材がいっぱいいるのが大学です。いろんな専門に強い教員が

いますから、これをどう組み合わせるかは、地域の課題に応じて合わせていく事が大事だと思います。

課題解決において、大学も一緒に加わらなければならないと大学は思っています。只、なかなか外に行くことが今まであまり得意ではなかったんですね。今の理事長は外に行き、地域との関係で大学も成長していくんだとの考え方を強く発信しています。ですから、今日こうやってお話しに声を掛けて頂き、理事長からまず行って来いと。そこから始まるんだということなんです。ですから逆に我々にとってロータリークラブは知ってはいました。でも中に入ってきたのは初めてで、ロータリーって何やってんのって言われたら、いや、悪いことはやってないっていうぐらいしか言えない。大学と地域との関わりが始まれば、いろんなところが出てくるんじゃないかなということも考えております。

一応学術をやってますから、その中心として一緒に地域の皆さんと一緒に地域の発展とか活性化、そのための課題が解決できればいいかなと考えています。これは本当にそう思ってます。でないと大学は残れないとの自覚と、行動を起こしているつもりですと、いつも理事長とよく話しています。

大学が生き残るには地域から信頼され支えられない限り、今日の大学は生き残れない。うちの大学は早稲田でもなく慶應でもない。地域に立脚した大学なんだ。ゆえに地域をよく見て覚醒は地域で育ててもらおう。だから地域の方からのお小言も聞く。だって未熟な学生を出すわけですから、不祥事を起こすこともあります。怪しからんことをやる、あいつらでも地域の担い手なんです。ですから責任を持って 4 年間預かり、そこで育てられた地域でも良い関係ができない限りにおいては、生き残れないっていうのが駿河台大学の今の経営の考え方のベースにあります。ですから今日からロータリーとお付き合いさせていただきありがとうございます。

これからもどうかよろしくお願いします。

発行 **入間ロータリークラブ**

■事務所：〒358-0005 入間市宮前町 1-10 繁田醤油(株)内 Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788

■Email : iruma-rc@jupiter.plala.or.jp

■例会場：丸広百貨店入間店 6 F バンケットホール Tel. 04-2963-1111

■例会日：木曜日 12:30~13:30 ■会報委員長：吉田勉

